

考古地磁気オンラインデータベースの設計

畠山 唯達 [1]
[1] 岡山理大・情報処理セ

Designing online database of archeomagnetism

Tadahiro Hatakeyama[1]
[1] IPC, Okayama University of Science

<http://mage-p.org/>

We have built a new archeomagnetic database and geomagnetic secular variation model for the last 2000 years in Japan. Next we will publish this database and model on the web targeting [1] researchers in geomagnetism, [2] researchers in archeology and archeometry and [3] people and educator who are interested in geomagnetism, paleomagnetism, archeology and archeometry.

Here I design the database that the backend service is done by a relational database and that the frontend service is on the web with search and browse of the data and the information of the remains and with geomagnetic secular variation model anywhere in Japan and estimation of the age.

我々はこれまで、日本の考古地磁気データについて再コンパイルしてデータベースを作成してきた。また、そこから、日本の地磁気永年変化モデルを作成した。このデータベースとモデルを公開するにあたって、対象を [1] 地磁気研究関係者、のほか、[2] 考古学研究関係者、および、[3] 地磁気や考古学に興味のある一般の人や教育関係者に設定した。残念ながら地磁気に興味のある人より考古学に興味がある人の方がずっと多いため、考古学を意識するのは当然であろう。また、考古地磁気は考古学・文化財科学のツールとして受け入れられるためにも必要なことである。

このようなこと考慮して、今回は次のようなデータベースを考え設計した。[a] バックエンドは普通のRDB、[b] フロントエンドはユーザー向けに Web ベースのサービスにする。そこには遺跡と考古地磁気データのほか、場所ごとの永年変化モデルと年代推定も盛り込む。

今後はこの設計に基づいて実際にデータベースを実装し、公開することを目標としている。